

## 瀬戸内タウンミーティング議事録（長浜地区）

平成 24 年 11 月 15 日（木）午後 7 時～午後 8 時 50 分  
牛窓町公民館長浜分館

参加者：男性 10 人、女性 4 人、計 14 人

### 意見交換

・錦海塩田跡地につくるメガソーラーは、地震が起きたらどうなるのか。大丈夫か。

（市長）われわれは土地をお貸しする立場なので、事業者の方がどう考えるのかというところではある。現在、津波ハザードマップでは、錦海塩田跡地は被害を受けるところになっている。しかし、これまでは、堤防が民有だったので、ないものとして考えられていたが、実際には、通常の津波であれば、耐えられるだけの高さはあると見ている。

・堤防があっても、高さがあるだけではいけないのではないか。

（市長）レベル 1（普通より強い）地震であれば、十分もつと考えている。しかし、東日本大震災レベルの津波が来たらもたないかもしれない。国の指針でも、レベル 1 の地震には耐えられるような堤防にすることが求められている。それ以上の津波がきた場合には、まず逃げるという考え方でいく必要がある。また、堤防はあっても師楽と玉津港が低いので、そこから水が入ってくることも考えられるので、その対策をどうするのか考えていく必要がある。

・師楽の建物を一部壊しているが、何かする予定があるのか？

（市長）事業者の方で、ソーラーをやると聞いている。

・下は岩盤か？

（市長）地盤はおそらく岩盤。地元（師楽）には説明に行っていると聞いている。

・岡山県知事選挙の期日前投票に行った。職員が 3 人、立会人が 3 人おられて、しかも人はあまり来ない。決められていることなので仕方ないのかもしれないが、毎日会場を開けておく必要はないのではないか。例えば、月・水・金は牛窓、火・木・土は長船といったことはできないのか。

（市長）立会人も職員も、最低 3 人ずついなければならないことになっている。

・選挙ポスターの掲示板は全部県道に向かって立てているが、地元の人に見ていただくのであれば、住宅がある側に向けて立てた方がいいのではないか。

- ・中に向けたら、一部の人が見られなくなるのではないか。
- ・選挙区ごとに何カ所というのが選挙管理委員会で決まっているはず。合併で掲示する場所は減っているが、見たい人は見るのだから良いのではないか。  
(市長) 見えるような場所へ設置できるよう工夫できるかどうか、検討する。

- ・石井前岡山県知事の任期修了のときに、新聞に、企業誘致ができなかったということが新聞にのっていた。海外に工場を建てる方に向かっていて、誘致は難しいようなので、地場産業の振興を優先的に考えていかなければならないのではないか。錦海湾で牡蠣を作っている人から、今年は牡蠣が小さいままで、良くないと聞いている。このあたりでも牡蠣うちに行っている人もたくさんおられる。ざっと1000人くらい牡蠣づくりに携わっている人がおられるので、牡蠣の出来が悪いと影響が大きい。市に支払う部分、たとえば牡蠣小屋の使用料などをまけてもらえないのか。

(市長) 牡蠣は、今年は、尻海と牛窓が悪いと聞いている。しかし、牡蠣小屋の使用料は、どこも、使っておられる方に負担していただいている。また、地場産業の振興はもちろんやっていくが、企業誘致も、市の税収確保の部分で効果が大きく、それはそれでやっていかなければならない。バランスが大事だと思っている。広い土地を造成し、できあがったものを売り込もうとしても、企業のニーズにぴったりと合わない。かといって、田んぼのままで売ろうとすると、3年くらいかかるので、企業の求めるスピードには合わない。そこで、市では、来ていただく企業のご要望も聞きながら、土地を造成していくやり方をとっている。地場産業の振興という点では、設備投資のお手伝いをする方法や、補助金を出す方法があるが、どうやって地力のある企業になっていただくかというのは考えていきたい。しかし、企業誘致と地場産業の振興というのは、切り離して考えていただきたい。

- ・畑が耕作されず特に山側は荒地になっている。

(市長) 放棄地対策については、補助金もあるので、産業振興課にご相談いただきたい。それから、自分でやっていただく方法のほかに、現在広くアイデアを募集しているアグリビジネスコンテストを行っている。そういったアイデアもうまく取り入れていきたい。

- ・畑管が来る前から荒地になっているところもある。

(市長) 補助金をうまく使っていただくか、考えていただきたい。行政が草刈りからやるというのはできないので、地元でも、どうしていくのかを考えていただきたい。

- ・企業誘致にも関連するが、市長の説明の中で南北道の話が出たが、道路を造るのは非常に市の負担となる。岡山市の場合は、市が道路を造るのではなく、企業などが必要であれば道路を造り、後から市に寄付して、市道として管理してもらうという方法をとっていると聞いた。しかも、側溝にきちんと蓋をしているとか、条件を満たしていなければ、寄付も断るらしい。

(市長) 市が一企業のために道を造るという話にはならない。また、市民の皆さんの生活道路というだけでは、たくさんのところから要望が出ているので、そこだけ、というわけにはいかない。例えば、本庄の工業団地のところは、誘致した企業と地元の両方から要望をいただいたので、現在整備している。

- ・市のことではないと思うが、小野島神社のお宮さんの反対側の木が県道にかぶさるようになってきている。大型バスの屋根にひっかかりそうで、障害になっているようだ。

- ・木の問題はいろいろなところにある。あじさいの丘から農面道に出る道も同じ。また、農面道も木が茂っているところがたくさんある。

- ・市道の草も同じ。また、県道はしているが、市道は、清掃を全然しないので、余計に土がたまって草が生えやすくなる。先日の寒風まつりをするにあたって、地元で草刈りをした。合併前には町から委託を受けて、年2回草刈りをしてきたが、市になってからはお金がないということで年1回になった。そうすると、自分たちでしなければ仕方がないが、自治会の皆さんに声を掛けてというのも難しいので、自治会の役員が出てやるしかない。清掃車を走らせて砂をとるだけでもやってほしい。

(市長) できるかどうか考えたい。

- ・津行から粟利郷に行く道で、拡張をずっとお願いしている箇所がある。前任者が申請したという話だが、全然拡張されない。ガードレールも路肩に曲がってついているので、人が落ちるおそれがある。しかし、要望をしても道路工事はやっていない。今は汚水工事ばかりだ。

(市長) 要望は、毎年出してほしい。好ましいことではないけれども、地元から声が挙がってくるところというのは認識しやすい。

- ・声大きいところだけをやるのはおかしい。さきほどの箇所は、地主さんとも今であれば話がつく可能性が高いのではないかと、という話もある。事故が起きてからでは遅い。

(市長) 要望書の扱い方についても、今のやり方については考える必要はあると思っている。昔あげたはず、という話はどこかしこであるが、今は年中受け付けているので、今年できるとか、来年になる、といった話もできない。出てきた要望が積み重なって行って、十分に優先順位付けができていない部

分もあると思うので、そのあたりは見直しをしなければならないと考えている。

- ・何回も出したらやってもらえるのであれば、何回でも出すが。

(市長) 一度建設課に相談に来てほしい。

- ・去年台風12号が来たが、最近は、ゲリラ豪雨も多い。開墾で畑を作っているが、よく浸かる。ポンプではさばききらないからか、出口が狭いのか、理由はわからないが、なんとか対策をお願いしたい。

(市長) ポンプの容量が足りないとは思ってはいないが、水路が水を流しきれないのかもしれない。排水対策はしっかりやっていきたいと考えている。

- ・少し強い雨が降って、国塩で、個人の横の家のそばの細い道が崩れて、片づけには来てくれたが、ブルーシートをかけ、コーンを置いてそのままになっている。また、申請が出ている分については、きちんと見に来てほしい。

(市長) 崩れてそのままの場所があるという点については、担当課に伝える。要望書の扱い方についても、見直していきたい。